

1 基本目標の2022年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
①基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>【評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略は時代の要請に沿うものであり妥当。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの取り組みとしては、ムトスの精神を高めていく段階であると認識する。 ・女性の声が反映されるまちづくりの必要性は論を待たないが、その手段として「女性委員の比率を高める」ことが実際に求められているのか。KPIの数値が伸び悩んでおり、分析が必要ではないか。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
②取り組みの内容をどう評価するか	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 評価する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムトスぷらざを拠点に様々な活動が展開され、具体的な事業を丁寧に進めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーギャップについては、多様な構成員を持つ組織の方が高パフォーマンスであると明らかにされている。女性が活躍できる環境づくりが必須となっていることを取り巻く状況の認識に加えられたい。 ・ジェンダーギャップについて、地域課題としてもっと認知を進めるべき。 ・いかに「ムトスの精神」を市民レベルまで落とし込んでいくかが重要である。
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
③進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<p>【評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIの⑦は評価するが、ただし、多文化と言うなら、外国人などの受け止め方、あるいは飯田市に対する「住みよさ」の評価を入れるべきでは。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信の取り組みの強化が必要であり、SNSの友達やフォロワーの数を進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）に追加し指標として捉える必要がある ・地域活動への参加が住民満足に影響を与えている。基本目標9で提案した内容（「健康とくらしの調査」から、市民の社会参加をウェルビーイングの視点から捉えた分析（日本福祉大学 宮國講師））をこの目標指標でも活用されたい。 ・この戦略を大きくとらえ、多文化からの視点を広く受け入れるためのステップにしていくべきではないか。単なる移住者や外国人の数値ではなく、関係人口、来訪者の印象、感想などの指標を考えられたい。

評価のポイント	方向性の妥当性、社会変化への適応状況の評価
④実績を踏まえ2023年度の方向性・妥当性・社会的環境変化への適応状況	<p>【評価】 <input type="checkbox"/>評価する <input checked="" type="checkbox"/>概ね妥当 <input type="checkbox"/>評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムトスぷらざを、女性と学生の活動拠点となるよう、さらに取り組むとよい。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムトスぷらざについての記述はあるが「ムトスの精神」についての記述が見当たらない、取り組みとして文章からは読み取れるが大事な部分ではないのか。(特に小戦略①：令和4年度記載あり、令和5年度記載なし) ・ここではムトスとジェンダーギャップを市の課題としてさらに強く捉えて推進されたい。 ・事業所、地域、行政などの組織においてその効率、成果が向上することを目標とするべき。 ・これからも住み続けられる持続可能な飯田市としていくためには、ジェンダーギャップやジェネレーションギャップの解消と相互理解への努力が不可欠である。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	10-①	多様性とムトスの行動力でまちづくりを推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input type="checkbox"/>評価する <input checked="" type="checkbox"/>概ね妥当 <input type="checkbox"/>評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムトスぷらざを核に市民活動の促進が見られるが、今後の活用についても注視していく必要がある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動が展開されている点は評価するが、産業振興、環境意識の醸成教育などの複数分野にまたがるエシカル消費は、基本目標内での取り組みの整理をされたい。 	

年度戦略 (小戦略)	10-②	多様性が尊重され、安心して暮らせる地域づくり
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input type="checkbox"/>評価する <input checked="" type="checkbox"/>概ね妥当 <input type="checkbox"/>評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性について前向きに取り組んでいる姿勢が窺える。ジェンダーについては同年代同士よりも世代間ギャップによる影響が大きいとの指摘もあり、全市民、全世代への多様性に関する考え方の浸透の取り組みを注視する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談に関する記述が多くなっており、「多様性」と「安心して暮らせる地域づくり」をこの小戦略で一緒に扱うことに違和感を覚える。 ・消費生活センターの所管について、市民課に留まらず、危機管理部などの関連部署との連携も検討されたい。 ・高齢者への消費者トラブル回避のための取り組みについては、情報弱者への情報提供に今後も配慮が必要である。 ・ワーク・ライフ・バランス推進の取り組みの中身が見えないため、従業員の人事、給与からも検討すべき。 ・特に年齢の高い市民に、世代間でどのようなギャップが出ているかなどの具体的な事例を出して啓発するなど、アンコンシャスバイアスの認識の浸透が必要 	

	<p>である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェンダーギャップが若年層の流出や地元回帰に影響を及ぼしている場合が少なくない。飯田市を外から見た時のイメージやブランディングにも直結すると考えられ、移住定住に関わることでもあり、全市的にさらに取り組まれない。
--	---

年度戦略 (小戦略)	10-③	国籍や文化等の多様性を認め合い、外国人住民と共生する地域づくり
評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input checked="" type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略計画は基本目標の達成のために概ねその役割を果たしており、ムトスぷらざの活用などを含めこれからの期待を込めて評価する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は「外国人も日本人も関係なく地域として受け入れていけるまち」にシフトしていくことを考えられたい。 	

評価のポイント		基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
実績を踏まえ 2023 年度の方向性・妥当性・社会的環境変化への適応状況	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> . <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> . 	